NIE実践報告

1．タイトル：**ＨＹＯＧＯみ～つけ！**

２．学校名

神戸市立鈴蘭台中学校

３．実践者名（代表者名）

米谷浩実

４．学年

第２学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科、５クラス１７８名

６．単元（本時の学習課題）名

地域学習～我が街ＨＹＯＧＯを見つめて～

７．目標（狙い）

地元兵庫県に関する記事を探し、「安全・防災」「福祉」「文化」「自然・環境」「平和」の５つにポイントを絞り、各テーマにおいて今後どのようになっていくべきか（未来予想図）を考える。

８．評価の視点

①新聞を積極的に読み、課題の選別ができたか。②新聞の内容を正確に読み取り、課題を解決できたか。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

１年次に「神戸新聞」（神戸を調べたもの）を作成し、その延長線上で「自分の生活している地域・兵庫県」を取り上げた。（郷土理解）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①各班４名で役割（班長・副班長・記録係・ムードメーカー）を決める。
②各役割で担当項目（安全・防災、福祉、文化、自然・環境、平和）を決定する。
③各担当のテーマに合う神戸に関する記事を捜し、切り抜き、ワークシートに貼る。
④ワークシートに必要事項を書き込む。
（ワークシート項目：記事の内容説明→キーワードの選定→記事の要旨報告→感想→兵庫県のＰＲ）
⑤インタビュー・シェアリング
⑥まとめ

11．児童・生徒の反応、感想・意見

役割分担を決め、新聞記事の選択、記事の内容の読解、自分の意見の構築、インタビュー後のまとめまで、多くの生徒がとても意欲的に取り組んでいた。授業終了後も話し合っている班も見られた。

12．成果と課題

・個人での作業、グループでの作業ともに各自が積極的に学習に取り組み、今まで知らなかったり、気付かなかったりしたことについて、新たな知識を得ることができた。
・一人一人が将来の兵庫県の在り方についての関心が高まるとともに、中には兵庫県が今後どうあるべきかという未来像まで　しっかりと考えている生徒も見受けられた。